

1. 本県周辺海域の概況(8/7現在)

- ・今月の海況の概要は図1のとおりです。
- ・黒潮の流型は直進的なN型を示しています。黒潮本流は犬吠埼沖を離岸傾向で通過した後、本県沖合を北北東に流れており、北緯37° 東経143.5° 付近まで北上傾向を示しています。また、本県沖合に黒潮本流から暖水が波及しています。
- ・親潮第一分枝の先端は北緯40° 東経144° 付近(青森県沖合)にあります。また、7月上中旬に常磐北部海域の沖合下層(100m深)および三陸中部の沖合下層で冷水域が確認されています。

2. 海洋観測結果(7/30～8/7:いばらき丸)

- ・水平水温図(水温, 前月差, 平年偏差)を図2～9に示しました。また、各定線の鉛直水温図を図10～13に、会瀬・鹿島定線の鉛直水温図(前月差, 平年偏差)を図14～17に示しました。表面水温は、会瀬沖で19.9～27.6℃, 大洗沖で21.0～27.6℃, 鹿島沖で21.5～28.0℃, 犬吠埼沖で24.4～28.0℃でした(図2)。
- ・前月と比べると、黒潮本流が流路変動した影響により、県中南部の沖合下層(100m深)で降温(-4～-1℃)しました。また、県北部の沖合下層では大幅に昇温(+3～+6℃)しました(図6～7, 図14～15)。
- ・平年と比べると、沖合の表層・下層で「高め～きわめて高め」、沿岸の表層・下層および極沿岸では「低め～平年並」となりました(図8～9, 図16～17)。

3. 今後の1カ月の見通し

- ・黒潮流型はN型で推移するとともに、本県沖合での黒潮流路は北上傾向となる状態がしばらく続くでしょう。
- ・親潮は本県沖に直接影響しないでしょう。但し、常磐北部海域で確認されている冷水域が県北部海域まで南下する可能性があります。
- ・水温を平年と比べると、沖合の表層・下層では「高め基調」で推移するでしょう。また、沿岸の表層・下層および極沿岸では「低め～平年並」で推移するでしょう。

